

原単位の改善のための取組に関する状況 【2025年度提出分(2024年度実績)】※非特定事業者用

岡谷熱処理工業株式会社

(OKAYA HEAT TREATING CO.,LTD.)

銘柄コード

法人番号 5100001019405

日本標準産業分類	コード	項目名
中分類	24	金属製品製造業
細分類 (申請事業)	2465	金属熱処理業
エネルギー管理統括者	【役職】 【氏名】	

エネルギー総使用量	27,425	GJ	708	kl
前年度エネルギー総使用量			-	kl
非化石エネルギー総使用量	-	GJ	-	kl
調整後温室効果ガス排出量	1,204		t-CO ₂	

【エネルギーの使用の合理化】

主たる事業におけるエネルギー消費原単位※注 (2023年度実績)	-		原単位分母 ■■■量(トン)	
	主たる事業の構成割合		-	
事業者全体のエネルギー消費原単位 対前年度比	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
事業者全体の5年度間平均原単位変化(%)				

※ 主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考え方に基づき各事業者が決定したもの。

【電気の需要の最適化】

主たる事業における電気需要最適化評価原単位 (2023年度実績)	-		原単位分母 ■■■量(トン)	
	DR実施日数		-	
事業者全体の電気需要最適化評価原単位 対前年度比	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
事業者全体の5年度間平均原単位変化				

【ベンチマーク指標の状況(合理化)】

ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	kl/t以下
ベンチマーク指標の状況	-	
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	kl/t以下
ベンチマーク指標の状況	-	
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況	-	
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況	-	

【調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた認証排出削減量等の量】

種別	合計量
-	- t-CO ₂

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】

1. エネルギーの使用の合理化に関する事項
当社の真空熱処理炉は、電気を熱エネルギー(ヒーター)に変換し、高温炉内で処理を行うため電気の使用量は莫大です。そのため過去2回の省エネ診断の受診をはじめ、EA21環境マネジメントを効果的に運用することで、電力使用量の抑制に日々取り組んでいます。

2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項

太陽光発電を2016年に導入し、年間約6万kWhの発電量で化石エネルギー使用を抑制しています。また2024年末には全量CO₂フリー電気の購入を果たし、積極的な非化石エネルギーの使用に取り組んでいます。

【取組の概要:カーボンニュートラルに向けて】

1. 自由記述欄 (カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について)
●●●●...

2. 関連リンク
(タイトル) : ●●●●●(URL)
(タイトル) : ●●●●●(URL)
(タイトル) : ●●●●●(URL)

(注意事項)

- ・赤枠囲み欄は必須記載です。
- ・再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、情報の公表を継続する必要があります。